

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 20 年 2 月 14 日 (2008.2.14)

【公開番号】特開 2005-286996 (P2005-286996A)  
 【公開日】平成 17 年 10 月 13 日 (2005.10.13)  
 【年通号数】公開・登録公報 2005-040  
 【出願番号】特願 2004-371885 (P2004-371885)  
 【国際特許分類】

H 0 4 N 1/46 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

H 0 4 N 1/60 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/46 Z

G 0 6 T 1/00 5 1 0

H 0 4 N 1/40 D

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 12 月 25 日 (2007.12.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ユーザによって選択された、同じ印象の見えになる、目標記録媒体における低明度の色の色データと、対象記録媒体の色の色データを取得する取得手段と、

前記目標記録媒体の色の色データと前記対象記録媒体の色の色データから補正量を算出する算出手段と、

前記補正量を用いて、画像出力装置の色信号と測色色信号の関係を示す、前記対象記録媒体に対応する色変換テーブルを補正する補正手段とを有することを特徴とする色処理装置。

【請求項 2】

さらに、前記目標記録媒体における最低明度と、前記対象記録媒体における最低明度を比較することにより、前記目標記録媒体における色の明度を決定する決定手段を有することを特徴とする請求項 1 に記載された色処理装置。

【請求項 3】

さらに、照明光の色度を取得する手段を有し、

前記算出手段は、前記目標記録媒体の色の輝度データと、前記対象記録媒体の色の輝度データの差分値、および、前記照明光の色度から前記補正量を算出することを特徴とする請求項 1 に記載された色処理装置。

【請求項 4】

コンピュータ装置を制御して、請求項 1 から請求項 3 の何れか一項に記載された色処理装置の各手段として機能させることを特徴とするコンピュータプログラム。

【請求項 5】

ユーザによって選択された、同じ印象の見えになる、目標記録媒体における低明度の色の色データと、対象記録媒体の色の色データを取得し、

前記目標記録媒体の色の色データと前記対象記録媒体の色の色データから補正量を算出し、

前記補正量を用いて、画像出力装置の色信号と測色色信号との関係を示す、前記対象記録媒体に対応する色変換テーブルを補正することを特徴とする色処理方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明にかかる色処理装置は、ユーザによって選択された、同じ印象の見えになる、目標記録媒体における低明度の色の色データと、対象記録媒体の色の色データを取得する取得手段と、前記目標記録媒体の色の色データと前記対象記録媒体の色の色データから補正量を算出する算出手段と、前記補正量を用いて、画像出力装置の色信号と測色色信号の関係を示す、前記対象記録媒体に対応する色変換テーブルを補正する補正手段とを有することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

本発明にかかる色処理方法は、ユーザによって選択された、同じ印象の見えになる、目標記録媒体における低明度の色の色データと、対象記録媒体の色の色データを取得し、前記目標記録媒体の色の色データと前記対象記録媒体の色の色データから補正量を算出し、前記補正量を用いて、画像出力装置の色信号と測色色信号との関係を示す、前記対象記録媒体に対応する色変換テーブルを補正することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】